



▲古城和人県央広域本部土木部長（左）に要望書を手渡す奥名克美町長

安全のために県道改良を 宇土甲佐線の道路改良を県に要望

6月13日（火）県央広域本部で、主要地方道宇土甲佐線の道路改良について、県に対し町が要望を行いました。同線の乙女橋左岸側下流付近の未整備区間は通学路として多くの自転車通学者が利用している県道ですが、道路幅員が狭く自転車も車両も安心して通行することが困難な状況にあることから、同区間の道路改良について早急な整備を町から県に要望しました。



▲甲佐神社の境内で茅の輪づくりを行う参加者の皆さん

無病息災を願う 「夏越しの大祓い」茅の輪づくり

6月29日（木）上揚の甲佐神社で、夏越しの大祓いを前に、地域住民9人が茅の輪づくりに汗を流しました。夏越しの大祓いは、1年の半分が過ぎる6月末に行われ、茅の輪をくぐることで半年分のけがれを落とし、夏本番を無事に過ごせるよう無病息災を願うもの。地域住民らは、町内で集めたカヤを編み、直径約2.5mの茅の輪を完成させました。



▲少年補導栄誉金賞を受賞した本田和登さん

安全安心な暮らしを支える 令和5年度少年補導功労者表彰

6月26日（月）東京グランドアーク半蔵門で全国少年警察ボランティア協会の表彰式が行われ、本田和登さん（中横田区）が少年補導栄誉金賞を受賞しました。本田さんは、35年以上にわたる青色回転車両による防犯パトロールや、竹細工作製活動を通じた地域住民との交流で青少年の非行防止や健全育成に貢献したことなどで評価されました。



▲本町に寄附した未来創造株式会社の松永代表取締役（左）と奥名町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

6月16日（金）町本庁舎で昨年末に本町へ寄附いただいた未来創造株式会社（熊本市・松永浩司代表取締役）に感謝状が贈られました。同社の企業版ふるさと納税制度による本町への寄附は、昨年につき2回目。感謝状を手渡した奥名克美町長は「本町の地域活性化および地方創生を推し進めていくために大切にしたい」と感謝の言葉を述べました。



▲全九州高等学校ソフトテニス競技大会に出場した内田選手（右）

本町の選手が九州大会に出場 第76回全九州高等学校ソフトテニス競技大会

7月2日（日）長崎県で開催された第76回全九州高等学校ソフトテニス競技大会に内田温香選手（熊本工業高校3年・下横田区）が出場しました。内田選手は「納得のいく結果ではありませんでしたが、自分の力は発揮できたと思います。大歓声の中、大きな舞台上で試合ができたことはとても良い経験になりました」と話しました。



▲くまモンと一緒に甲佐を売り込む町企画課の橋本風花主事

福岡で本町の魅力を発信 熊本移住祭～開幕の陣～が開催

7月1日（土）福岡県で行われた「熊本移住祭～開幕の陣～」に町職員が参加し、本町の魅力をアピールしました。本事業は、県内の市町村の移住担当者と地方移住への関心が高い都市部の住民が交流する目的で県が主催。今年度は、年間を通して移住相談会を全12回開催予定で、第1回目となる今回は、10市町村によるPRやトークイベント、参加者とのフリー交流会などが行われました。



▲商品を勧める県立松橋西支援高等学校上益城分教室の生徒たち

作業製品の販売会を開催 地元スーパーが販売協力

7月15日（土）アタックス サエラ店（豊内）で県立松橋西支援高等学校上益城分教室の生徒による作業製品の販売会が開催されました。生徒たちが作業学習で作った製品を販売し接客や地域住民と交流することを目的に同学校が主催。同学校の工芸班が作った革製品やはがき、農耕班が育てたマリーゴールドやタマネギなどが店頭にはびましました。



▲メッセージ伝達式に訪れた上益城地区保護司会御船分会の一行

明るい社会を目指して 第73回社会を明るくする運動

7月11日（火）「第73回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として、全国で展開。上益城地区保護司会御船分会（服部秀月会長）の一行は、町役場で師富副町長に内閣総理大臣および県知事のメッセージを伝達しました。伝達式後、同会は上益城郡内を巡回し、啓発活動を行いました。